

# たけや今むかし探訪



## ⑧ 平田屋川 (ひらたやがわ)

いくつもの川の流れるまち、広島。その中に、現在は埋め立てられて、なくなった川がいくつもあります。「平田屋川」もその一つ。現在の並木通りから地蔵通りを流れ、元広島大学本部の東側を抜け御幸橋の北あたりで京橋川に当時そそいでおり、広島城の外堀から続く運河としての役割を果たしていたようです。

平田屋の名前は「知新集」中通組十四町の中に「平田屋町」として紹介されています。平田屋惣右衛門という人物がその地に住んでいたことから町名として始まり、川も平田屋川、橋も平田屋橋と呼ばれたということです。

その惣右衛門、毛利輝元が広島城を築城するにあたり、出雲の国から呼び寄せられ城下の建設と町割りに従事したということです。一般にはあまり知られてない平田屋惣右衛門。現在の広島の基礎の基礎をつくった人と言っても過言ではないでしょう。

本通りと並木通りが交差するあたりの歩道に「平田屋川」の銘板が埋め込まれていますので、ぜひ一度ご覧ください！